

『何なんと言っても、 貴方は勤務中なんですから……』

9月20日から21日にかけて台風15号の影響により東海地方に記録的な豪雨をもたらし、岐阜県多治見市では至るところが冠水し「避難勧告」が出ている中、小学4年の男児が用水路に流されて行方不明となり、また、名古屋市では「100万人」に「避難勧告・指示」が出され庄内川（岐阜県との県境まで土岐川）や天白川は増水により名古屋市北区、守山区では川が氾濫し広範囲にわたり被害が出た。

特に、岐阜県多治見市では降り始めからの総雨量が432.5ミリとなり、交通期間に大きく影響を与え、中央線の名古屋駅―釜戸駅（岐阜県瑞浪市）間が運転見合わせとなった。高蔵寺駅と鶴舞駅で改札口が大雨により大人の足のヒザ当たりまで冠水、古虎溪駅では線路に山からの大量の雨水で線路が冠水し、土砂崩れ警報装置が動作した。

このような状況下において、通勤途中の社員が会社に何度も連絡を入れたにも関わらず、管理者の「非人道的な指示（勤務中ですから終日運転見合わせと言うまで）」により動かない列車に7時間以上も缶詰状態にされた。

『他の交通機関が駄目なら、 車で出て来れないかな?!』

多治見市内は至るところで冠水し、幹線道路の国道は土砂崩れで通行止め高速道路も通行止めになっているなかで、管理者は「車では、駄目かな」と正規ルートでもない通勤手段を口にした。

多治見市内の至るところで冠水し「避難勧告・避難指示」が出ている中、長時間駅に停車中の列車内に待機させたり、また至るところで道路が通行止めになっているにも関わらず「車では駄目かな?!」などの発言は、会社の利益を優先し『どんな手段を使っても出勤させる』という姿勢の表れあり、社員の健康状態や二次災害による事故に遭うことなど考えないのである。

以上のように、会社が現在推し進めている安否確認システムにおいても、家族や家がどのような状態であっても「**本人が無事であれば、会社へ出て来い**」というものではないでしょうか！